

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	企業経営革新の支援	施策No	05-03	部課名	産業経済部経営支援課		
				課長名	小堀	内線	455

関連部課名							
--------------	--	--	--	--	--	--	--

行政評価	分野	産業革新都市					
事業体系	政策	05	活力ある地域経済づくり				

目的 区内企業が安定的な経営を行うため、必要な資金調達・施設整備、情報提供などを行うとともに、企業競争力・経営力の強化に向けた新製品・新技術開発や販路拡大を支援し、熟練技術者の技術が持続的に承継できるよう支援することで、区内産業の活性化を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	まちの産業	2.51	2.57	2.56	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？		

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
	融資実行件数（件）	785	825	773	900	900	年間件数
	日暮里経営セミナー参加者数（人）	119	111	61	100	100	年間受講者数
	新製品・技術の開発に対する取り組み意欲（製造業）（%）	-	49.70	45.10	-	50.00	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は33年度。
	知的財産に関する専門家への相談状況（製造業）（%）	-	27.30	31.90	-	30.00	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は33年度。
	新たな販路開拓に対する取り組み意欲（製造業）（%）	-	39.90	47.50	-	42.00	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は33年度。

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
行政費用	給与関係費	82,832	80,035	2,797	行政収入	地方税	0	0	0
	物件費	9,195	15,547	6,352		国庫支出金	3,540	0	3,540
	維持補修費	0	0	0		都支支出金	39,362	37,212	2,150
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	319,353	289,028	30,325		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	9,712	10,407	695
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	35	35		行政収入合計(a)	52,614	47,619	4,995
	賞与・退職給与引当金繰入額	11,123	11,514	391		行政収支差額(a)-(b)=(c)	369,889	348,540	21,349
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	422,503	396,159	26,344		通常収支差額(c)+(d)=(e)	369,889	348,540	21,349
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	369,889	348,540	21,349		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
流動資産	収入未済	110	105	5	流動負債	2,446	2,471	25	
	不納欠損引当金	0	35	35		還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0		賞与引当金	2,446	2,471	25
	土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0		固定負債	24,663	20,215	4,448
	建物減価償却累計額	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0		退職給与引当金	24,663	20,215	4,448
	工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	27,109	22,686	4,423
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	26,999	22,616	4,383		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	26,999	22,616	4,383		
資産の部合計	110	70	40	負債及び正味財産の部合計	110	70	40		

財務諸表に関する特徴的事項等

財務諸表では、行政費用として補助費等が大きな割合を占めている。内訳としては、中小企業融資事業の利子補給と信用保証料が全体の63%を占めている。次いで荒川区小規模事業者経営力強化支援事業が24%と、2つの事業で9割弱となっている。その他は、区内事業者の経営力を強化するための補助金である。物件費は、販路開拓支援事業における機械要素技術展の委託料、出展料が大きな割合を占めている。

行政収入は、荒川区小規模事業者経営力強化支援事業で活用した東京都の補助金である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>平成29年度に実施した「荒川区モノづくりセンサス」によると、強化すべき区の施策として販路開拓支援、資金の調達支援、従業員確保・育成支援、製品開発支援が求められている。また、新製品・新技術の開発に取り組む意欲については、「積極的である」、「必要に応じて取り組む」という回答が約4割を占めるものの、大学・研究機関を活用している企業は5%程度である。</p> <p>区内企業経営者の高齢化は進行しており、60歳代以上の経営者が約7割となる一方、事業承継済み・承継予定とした企業は約29%にとどまり、事業を廃止・清算予定としている企業も29%を占める状況となっている。</p>
課題	<p>企業経営者が経営基盤を安定化できるよう、将来を見据え、事業に必要な資金調達、施設の整備や、経営に関する知識やノウハウを修得できるような支援の必要がある。</p> <p>区内企業の人材不足を補い、収益力を向上させるため、企業競争力・経営力を強化していくとともに生産性を向上させる設備への投資を促進し、新製品・新技術の開発や販路拡大などを支援していく必要がある。</p> <p>若者のモノづくりに対する関心の低下もあり、熟練技術者の高度な技術・技能を受け継ぐ後継者が不足していることから、優れた技術・技能を円滑に承継していくため、事業承継支援の強化を図る必要がある。</p>
今後の方向性	<p>区内企業を取り巻く経済状況を踏まえ、企業経営及び生産性向上のための設備投資に必要な資金の調達支援に取り組むとともに、国、都及び関係機関等と連携し、多面的な支援を行う。</p> <p>経営に必要な知識や市場動向等に関する情報を提供するとともに、相談体制を整備することにより、区内企業の経営課題の解決力向上及び経営人材の育成を図る。</p> <p>区内企業の大規模展示会への共同出展や知的財産戦略支援に取り組むとともに、TASK（台東、荒川、足立、墨田、葛飾）事業の広域連携により、地域の強みやアイデアを生かした新製品・新技術の開発や販路拡大を図る。</p> <p>技術・技能が円滑に次世代へ承継していくため、国、都及び関係機関等と連携し、強化月間を設けるなど事業承継に対する早期の取組みを促し、多様な事業承継支援の強化を図る。また「モノづくりの街あらかわ」をより丁寧に区民にPRし、後継者の確保や技術・技能の承継に関する事業の充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争を勝ち抜くためには、経営基盤の安定だけでなく、新製品開発や新事業展開、販路拡大等、絶えず新たな分野への挑戦が重要である。その取組を支援することは、区内産業の活性化のため極めて重要である。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用(千円)		決算額(千円)		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
中小企業融資事業	06-02-08	231,387	227,160	194,313	189,393	重点的に推進	重点的に推進	区内中小企業者が金融機関の融資を利用する際、区が利子の一部や信用保証料の全額又は一部を補助する制度は、借受に伴う負担を軽減し、事業経営の安定と経営基盤の強化を図るため極めて重要である。
中小企業融資原資預託	06-02-09	2,267	2,307	1,000,000	1,000,000	継続	継続	長期にわたる景気低迷の影響を受け、依然として区内中小企業を取り巻く環境は、厳しい状況である。区内中小企業の事業資金調達の円滑化や経営の安定化を図る観点から、預託を継続する必要がある。
企業経営・技術・情報等相談事業	06-02-11	12,033	12,196	12,033	11,620	推進	推進	企業相談員の区内企業への巡回相談や情報提供は、区内企業の経営課題の解決、経営基盤の強化の一助となるとともに、区内産業の活性化のために重要である。
中小企業倒産防止共済等加入助成事業	06-02-12	6,404	5,530	5,270	4,376	推進	推進	下請構造が強い区内企業の経営基盤を強化する上で重要である。
工場建替促進事業	06-02-13	716	841	716	264	継続	継続	区内の工場定着のために必要である。
あらかわ経営塾	06-02-14	3,941	4,668	1,674	1,207	重点的に推進	重点的に推進	区内企業の経営革新に向けた計画等の策定を通じて、区内企業の経営基盤の強化と区の産業界を担う人材の育成、人脈の形成を図ることは、極めて重要である。
日暮里経営セミナー事業	06-02-15	2,562	3,179	295	294	推進	推進	企業経営に必要な各種情報をタイムリーに提供し、かつ、区内企業にとって国の専門支援機関を身近なものとする契機となるものであり重要である。
高度特定分野専門家派遣事業	06-02-16	5,161	4,250	1,760	2,519	推進	推進	独自の研究・相談部門の配置が困難な小規模企業にとって多岐に渡る高度な問題解決への対応は難しく、専門知識を有する専門家の迅速かつ継続的な派遣支援は、区内産業の発展に必要であり、推進していく。
経営革新等支援事業	06-02-17	35,460	22,899	32,059	18,861	重点的に推進	重点的に推進	当該補助事業を通じて、区内企業の経営基盤の強化と経営革新が図られることが期待されることから、区内産業活性化を目指すためには極めて重要と考える。
企業情報化支援事業	06-02-20	3,508	3,345	1,241	1,614	推進	推進	ICTを活用した生産管理等は業績向上に不可欠であり、ICTに関する経営知識等の提供は重要である。ICTによる商取引が急速に進む社会経済情勢に合わせたツール等について周知啓発を推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
販売支援サイト事業	06-02-21	646	0	79	0	休止・完了	休止・完了	ICTを活用した商環境が進展し、集客力の高い民間のインターネットショッピングモールが設立されていることから、本事業を完了した。
産業展助成	06-02-22	19,548	0	7,079	0	休止・完了	休止・完了	区内企業・産業の販路拡大のため、BtoBは機械要素技術展等の見本市への共同出展に特化する。またBtoCについては物販に特化する等改善・見直しを図る。平成29年度から「販路開拓支援事業」へ移行する。
荒川マイスター表彰事業	06-02-23	3,573	3,763	1,306	1,456	推進	推進	本事業は、高度な技術・技能を有する職人のモチベーション向上と、技術・技能の向上、承継を図るもので、「モノづくりの街」荒川のPRや区内産業の活性化のために重要である。
次世代へのバトンタッチ（事業承継・終了）支援事業	06-02-24	1,900	1,783	200	52	重点的に推進	重点的に推進	創業期から事業承継及び事業終了期まで一貫して、経営者に対し、相談体制や各種の補助事業等の幅広いサポートを行うことは、区内企業の体質改善を図り、産業の活性化につなげるために重要である。
あらかわ7S推進事業	06-02-25	3,993	2,222	1,158	1,068	推進	改善・見直し	区が実施する関連事業（高度特定分野専門家派遣事業、小規模事業者経営力強化支援事業、経営革新等支援事業、制度融資等）の利用を促し、企業の現場改善の推進を後押しする。
荒川区小規模事業者経営力強化支援事業	06-02-26	89,406	77,521	84,304	70,022	推進	推進	当該事業を通じて、区内産業を支えてきた小規模事業者の経営力の強化が図られることが期待されることから、区内産業活性化を目指すことは重要である。
販路開拓支援事業	06-02-27	0	24,496	0	16,420	重点的に推進	重点的に推進	本事業は経営革新等支援事業の「機械要素技術展共同出展」と「産業展助成」を統合したもので、販路開拓支援だけでなく、「モノづくりの街あらかわ」のブランド価値向上も期待されるため極めて重要である。
合計		422,505	396,160	1,343,487	1,319,166			